

パイプオルガンコンサート特集 からだ共鳴する、 オルガン音楽の響き。

巨大なパイプオルガンの生演奏を聴くことは、
全身で音楽を受けとめる体験に他ならない。
バロックから現代のレパートリーまで、
注目の公演をご紹介します。

お昼の30分、オルガンで異空間へトリップ

「ランチタイム・パイプオルガンコンサート」は、文字通りお昼時の30分間で、芸劇が誇る世界最大級のパイプオルガンの演奏を楽しめる。オフィスワークやショッピングの合間にワンコインで気楽に足を運べるが、重厚できらびやかなオルガンの響きが、非日常的な空間へといざなう。新年1月14日の公演は、りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館でオルガニストを務める山本真希が登場する。オルガンの名曲中の名曲、J. S. バッハの「トッカータとフーガ 二短調 BWV 565」のほか、フランスの大家L. ヴィエルヌによる「カリヨン」と題された20世紀の作品も披露される。荘厳で華やかな音のパノラマに、圧倒的な感動を覚えるだろう。3月10日の公演は、国際コンクールで優勝を重ね活躍が目覚ましい高橋博子が出演する。オルガンのコンサートは楽器の正面に近い2階席が通好み(?)で人気だが、ランチタイムは自由席なので、あえて1階席前方などを試すのもいいだろう。降り注ぐような響きに全身が包まれ、生演奏ならではの体験ができるはずだ。

巨匠ギエルミが奏でるバッハの名曲集

9000本のパイプを持つ芸劇の巨大なオルガンは、無数の音色の組み合わせ(レジスト)が可能だ。奏者がどんなプログラムで、どんなレジストを駆使し、どんな呼吸感で演奏するか。そうしたポイントによってオルガン音楽の神秘的な魅力は無限大に膨張していく。そこに着目したとき、16世紀から17世紀のオルガン芸術、とりわけJ. S. バッハの作品解釈の第一人者であり、イタ

リアのオルガン音楽の巨匠であるロレンツォ・ギエルミのリサイタルに、大いなる期待を寄せずにはいられない。パイプからシンフォニックな広がりを響かせる自然な呼吸感、歌心を感じさせるテンポとハーモニーの形成感覚を持つギエルミ。バッハのみのコンサートとはいえ、曲目は前奏曲、コラール、協奏曲、フーガと多岐にわたる。名匠ギエルミがそれらをいかに豊かな響きで弾き分けるのか。芸劇バロック・オルガンの本領が発揮される。

ナイトタイムは光と闇に包まれて

まるで宇宙に溶け込むような音楽体験とでも言おうか。ナイトタイム・パイプオルガンコンサートは、ホールの空間全体に響き渡るオルガンの音色に包まれるだけでなく、闇と光の演出が格別な時間を与えてくれる。鮮やかなライトがパイプとステージを色とりどりに照らし、時には深い海の底へ、ときには天上の眩しい世界へと私たちを導いてくれる60分のシリーズだ。来る2月25日は、劇場副オルガニストの新山恵理が演奏する。今回はN響首席フルート奏者の神田寛明と共演するというスペシャルなコンサート。バッハの「フルート・ソナタBWV1031」と、F.マルタンによる「フルートとオルガンのための教会ソナタ」は、朗々たるフルートの旋律と、温かなオルガンのハーモニーが絡み合い、聴き手に深く静かな高揚感をもたらしてくれる。また、オルガンのソロ演奏では、リストによる「バッハの名による前奏曲とフーガ」もプログラムされており、重厚かつ瞑想的な夜を過ごさせてくれるだろう。

文：飯田有抄(音楽ライター)

東京芸術劇場ランチタイム・パイプオルガンコンサート

Vol.115 詳細はP11へ

1月14日(木) 12:15開演 コンサートホール

オルガン：山本真希
シャルバンティエ/『テ・デウム』より「前奏曲」
ブルーナ/第2旋法の不協和音のティエント
J.S.バッハ/トッカータとフーガ 二短調 BWV565 ほか



山本真希

Vol.116 詳細はP15へ

3月10日(木) 12:15開演 コンサートホール

オルガン：高橋博子
J.S.バッハ/前奏曲とフーガ ホ短調 BWV548
コラール前奏曲「最愛のイエス、私達はここに集まり」 BWV731 ほか



高橋博子

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

※2月4日(木)に予定しておりましたパイプオルガンコンサートVol.21は、都合により中止となりました。

ロレンツォ・ギエルミ オルガン・リサイタル

2月11日(木・祝) 14:00開演 コンサートホール

オルガン：ロレンツォ・ギエルミ
J.S.バッハ/「目覚めよ、と呼ぶ声が聞こえ」BWV645
トッカータとフーガ 二短調 BWV565
協奏曲 二短調 BWV974
(原曲=A.マルチェッロ：オーボエ協奏曲) ほか



ロレンツォ・ギエルミ

主催：アレグロミュージック
提携：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

東京芸術劇場 ナイトタイム・パイプオルガンコンサート Vol.13

2月25日(木) 19:30開演 コンサートホール

オルガン：新山恵理 フルード：神田寛明
マルタン/フルートとオルガンのための教会ソナタ
J.S.バッハ/フルート・ソナタ 変ホ長調 BWV1031
リスト/バッハの名による前奏曲とフーガ ほか



新山恵理



神田寛明

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) / 豊島区

詳細はP13へ

詳細はP14へ

第17回シヨパン国際ピアノ・コンクール2015 入賞者ガラ・コンサート

1月28日(木)～29日(金) 19:00開演 コンサートホール

詳細はP12へ



チョ・ソングジン



シャルル・リシャール＝アムラン



ケイト・リウ

シヨパン・コンクール入賞者たちが総登場。

今回も多くの若い音楽家たちが栄冠に挑戦し、世界中の聴衆とフォロワーを魅了した『第17回シヨパン国際ピアノ・コンクール』。第1位に輝いたチョ・ソングジンをはじめ、第6位までの入賞者が全員揃ったコンサートは、指揮者とオーケストラも含め、まさにシヨパコンの引越越し公演。ワルシャワの興奮を味わえるチャンスだ。

指揮：ヤツェク・カスプシク
管弦楽：ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団 ほか
ピアノ：チョ・ソングジン(第1位&ポロネーズ賞同時受賞) / シャルル・リシャール＝アムラン(第2位&ソナタ賞同時受賞) / ケイト・リウ(第3位&マズルカ賞同時受賞) / エリック・ルー(第4位) / イーケ・(トニー)ヤン(第5位) / ドミトリー・シシキン(第6位)

28日 シヨパン/アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ Op.22(オーケストラ付)
ピアノソナタ 第3番 口短調 Op.58、ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 Op.11 ほか
29日 シヨパン/ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 Op.11、ピアノ協奏曲 第2番 ヘ短調 Op.21
ポロネーズ 第6番 変イ長調 Op.53[英雄] ほか
主催：シヨパン・アーツ
提携：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

芸劇ウインド・オーケストラ 第2回演奏会

3月12日(土) 15:00開演 コンサートホール

詳細はP15へ



秋山和慶

今や「芸劇の顔」となった若き才能たち。

将来ある若い音楽家たちをアカデミー生として育成する事業である「芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミー」。すでに開館25周年記念コンサート『ジョワ・ド・ヴィーヴル』ほかで活躍している彼らの、この1年の集大成となる第2回目のコンサート。委嘱新作では、吹奏楽シーンでおなじみの作曲家である長生淳氏の作品も披露される。芸劇が誇る音楽家たちを応援したくなる名演に期待したい。

指揮：秋山和慶 吹奏楽：芸劇ウインド・オーケストラ

パレス(建部知弘編) / 序曲「リシルド」 リード/アルメニアン・ダンス パート1

長生 淳/委嘱作品(世界初演) ヒンデミット/吹奏楽のための交響曲 変口調 ほか
主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

東京芸術劇場&ミュゼザ川崎シンフォニーホール共同企画 第5回音楽大学フェスティバル・オーケストラ

3月26日(土) 15:00開演 コンサートホール

詳細はP16へ



尾高忠明

©青柳聡

9音楽大学選抜のスーパー音大生オーケストラ。

東京芸術劇場とミュゼザ川崎シンフォニーホールの共同企画であり、首都圏の各音楽大学によるオーケストラが競演する「音楽大学フェスティバル・オーケストラ」。スペシャル企画の選抜オケ演奏会も5回目となる。関西でも開催された同様のコンサートで指揮をするなど、若い世代の育成に情熱を傾けている尾高忠明が芸劇の指揮台へ登場し、一期一会の名演を実現する。

指揮：尾高忠明 管弦楽：音楽大学フェスティバル・オーケストラ

チャイコフスキー/交響曲第5番 ホ短調 Op.64 ショスタコーヴィチ/交響曲第5番 二短調 Op.47

首都圏9音楽大学選抜オーケストラ 上野学園大学、国立音楽大学、昭和音楽大学、東京芸術大学、東邦音楽大学、桐朋学園大学、武蔵野音楽大学
主催：音楽大学オーケストラ・フェスティバル実行委員会/ミュゼザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ) / 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

芸劇&読響 0才から聴こう!! 春休みコンサート “春が来た! キラキラわくわくオーケストラ”

3月30日(水)【1回目】11:30開演 / 【2回目】13:30開演 コンサートホール

詳細はP16へ



梅田俊明

撮影：三浦興一



中井美穂

©小畑晋夫

お子様と一緒に楽しむクラシックの名曲。

毎日をお子様と楽しく過ごす中、でもちょっと息抜きもしたいと思っているママ、パパたちに名曲のプレゼント。0才児から一緒に、迫力のあるオーケストラの演奏を楽しめるという貴重なコンサートが、春の兆しを感じる3月30日に開催される。お子様が音楽に目覚めるきっかけになるという期待も。年齢に関係なくご家族と一緒にどうぞ。

指揮：梅田俊明 ナビゲーター：中井美穂

ヴァイオリン：二瓶真悠(第8回東京音楽コンクール 弦楽部門第1位) 管弦楽：読売日本交響楽団

ビゼー/「カルメン」前奏曲 サラサーテ/ツィゴネルワイゼン

ヴィヴァルディ/ヴァイオリン協奏曲「四季」より「春」 ほか

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
事業提携：読売日本交響楽団

P10 / 文：オヤマダアツシ